



2026年12月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2026年8月14日

上場会社名 日本精蠟株式会社

上場取引所 東

コード番号 5010 URL <https://www.seiro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員

(氏名) 瀧本 丈平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員

(氏名) 伊藤 宜広

TEL 03-3538-3061

半期報告書提出予定日 2026年8月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2026年1月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	9,954	5.9	1,723	230.5	1,480	419.3	1,156	334.5
2025年12月期中間期	9,397	△16.0	521	△56.3	285	△69.2	266	△68.9

(注) 包括利益 2026年12月期中間期 1,206百万円 (—%) 2025年12月期中間期 96百万円 (△89.0%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	58.56	41.32
2025年12月期中間期	13.48	11.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	29,470	7,584	25.7
2025年12月期	27,279	6,378	23.4

(参考) 自己資本 2026年12月期中間期 7,584百万円 2025年12月期 6,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期 (予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,900	10.7	3,100	164.2	2,700	296.6	2,000	186.7	101.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ― 社（社名）、除外 ― 社（社名）
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	22,400,000 株	2025年12月期	22,400,000 株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	2,650,747 株	2025年12月期	2,650,747 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	19,749,253 株	2025年12月期中間期	19,749,253 株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 当中間期の経営成績の概況

①事業環境

当中間連結会計期間(2026年1月1日～2026年6月30日)における当グループの事業環境を概観しますと、2月末からの中東情勢緊迫化により原油の調達に不安が生じ、原油価格が高騰しました。

こうした状況下、当社グループの上半期業績は売上高が前年同期比5.9%増で推移し、利益は当初予想よりも増加しました。増加要因は以下の通りです。

上半期は、中東情勢緊迫化により、原材料価格が高騰しましたので、その上昇幅に見合う販売価格の改定を行いました(サーチャージ制度の導入)。

また、原材料価格が高騰する前に購入した原材料も使用したことで、売上原価の上昇は原材料価格の上昇より遅れたため、売上原価の影響は一定程度に留まったこと、加えて在庫単価が上昇したことにより、利益が当初よりも増加しました。

下半期については、原材料価格の変化は無く、上半期における原材料価格の上昇は下半期中に売上原価に全て反映されるものと見込んでおりますので、当初予想からの業績の上昇幅は当期よりも小さくなる見込みです。

来年度以降、原材料価格が下落し、それに対応して販売価格を改定する局面では、価格下落前に購入した原材料を使用することで、売上原価の減少は原材料の下落に対して遅行することに加えて、在庫単価が低下することにより、当期の収益増加分の反動減が生じる見込みです。

②事業の経過及び当期の経営方針等に基づく諸施策の実施状況

このような状況下、当社は前期に引き続き2026年を未来へ繋がる足場固め、「基盤強化期」と位置付け、上期は以下の項目を実施しました。

I 新規高付加価値ワックスへの集中

- ・R&Dセンター部門の増員、新規製品比率の目標値設定
- ・ライスワックスのサンプルワーク開始
- ・インキ・塗料用途で品質改良した製品サンプルを顧客へ提案

II 資本性劣後ローンの残額返済

- ・残額のうち元本5億円相当額の返済を7月31日付で実施

III 基幹工場のリニューアル

- ・徳山工場老朽化設備の解体工事を6月よりスタート

③当期事業概況と成果

当中間期連結会計期間の経営成績は、以下の通りです。

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	対前年同期比
・国内ワックス販売 売上高(百万円)	6,416	6,877	+460
数量(トン)	11,750	11,038	△711
・輸出ワックス販売 売上高(百万円)	2,578	2,668	+90
数量(トン)	7,254	6,974	△280
・重油販売 売上高(百万円)	334	365	+30
数量(キロリットル)	4,000	3,950	△49
・その他商品販売 売上高(百万円)	67	42	△24
・総売上高(百万円)	9,397	9,954	+556
・営業利益(百万円)	521	1,723	+1,201
・経常利益(百万円)	285	1,480	+1,195
・親会社株主に帰属する中間純利益(百万円)	266	1,156	+890

(販売)

ワックスについては、販売数量は前年同期比5.2%減、販売単価は4月よりサーチャージ制度を導入したことで前年同期比12.0%増となりました。また、重油の販売数量は前年同期比1.2%減、販売単価は10.6%増となりました。

(損益)

営業利益については、国内及び輸出ワックスの単価上昇によって、前年同期比1,201百万円増の1,723百万円、経常利益は前年同期比1,195百万円増の1,480百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比890百万円増の1,156百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状態

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比較して2,191百万円増加し29,470百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少額207百万円、受取手形及び売掛金の増加額158百万円、商品及び製品の増加額1,315百万円、原材料及び貯蔵品の増加額1,224百万円、有形固定資産合計の減少額480百万円等によるものです。

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比較して985百万円増加し21,886百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金の増加額472百万円、短期借入金の増加額405百万円、固定負債その他の増加額92百万円等によるものです。

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比較して1,206百万円増加し7,584百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加額1,156百万円等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して207百万円減少し2,521百万円となりました。

当中間連結会計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、409百万円(前年同期は1,370百万円の収入)となりました。これは主として税金等調整前中間純利益1,217百万円、減価償却費396百万円、棚卸資産の増加額2,526百万円、仕入債務の増加額470百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、199百万円(前年同期比1百万円の支出減)となりました。これは主として有形及び無形固定資産の取得による支出162百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、356百万円(前年同期は806百万円の支出)となりました。これは主として短期借入金の純増額377百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、2026年2月16日公表の予想値を修正しています。詳細につきましては、本日公表の「2026年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,828	2,621
受取手形及び売掛金	2,332	2,491
商品及び製品	4,932	6,248
原材料及び貯蔵品	2,296	3,521
その他	124	298
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,513	15,179
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,315	9,317
その他(純額)	4,550	4,067
有形固定資産合計	13,866	13,385
無形固定資産	79	106
投資その他の資産	820	799
固定資産合計	14,766	14,291
資産合計	27,279	29,470
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624	1,097
短期借入金	12,000	12,405
未払法人税等	2	3
賞与引当金	86	63
その他	1,146	1,163
流動負債合計	13,860	14,733
固定負債		
長期借入金	3,601	3,601
再評価に係る繰延税金負債	2,962	2,962
退職給付に係る負債	41	38
特別修繕引当金	35	57
その他	400	493
固定負債合計	7,040	7,152
負債合計	20,901	21,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	65	65
利益剰余金	1,201	2,358
自己株式	△674	△674
株主資本合計	693	1,849
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	5,477	5,477
為替換算調整勘定	207	257
その他の包括利益累計額合計	5,684	5,734
純資産合計	6,378	7,584
負債純資産合計	27,279	29,470

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,397	9,954
売上原価	7,712	7,025
売上総利益	1,684	2,928
販売費及び一般管理費	1,163	1,205
営業利益	521	1,723
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	5	7
受取保険金	5	0
受取賃貸料	11	11
為替差益	45	—
受取補償金	0	5
その他	10	9
営業外収益合計	83	38
営業外費用		
支払利息	302	245
為替差損	—	21
その他	16	14
営業外費用合計	319	281
経常利益	285	1,480
特別利益		
補助金収入	5	1
特別利益合計	5	1
特別損失		
固定資産除却損	20	46
減損損失	—	218
特別損失合計	20	264
税金等調整前中間純利益	270	1,217
法人税等	4	60
中間純利益	266	1,156
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	266	1,156

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	266	1,156
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△98	49
土地再評価差額金	△70	—
その他の包括利益合計	△169	49
中間包括利益	96	1,206
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	96	1,206
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	270	1,217
減価償却費	429	396
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△22
修繕引当金の増減額(△は減少)	△120	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17	△3
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	14	21
受取利息及び受取配当金	△10	△11
受取保険金	△5	△0
支払利息	302	245
為替差損益(△は益)	11	△0
固定資産除却損	20	46
補助金収入	△5	△1
減損損失	—	218
売上債権の増減額(△は増加)	132	△154
棚卸資産の増減額(△は増加)	744	△2,526
仕入債務の増減額(△は減少)	△497	470
未払金の増減額(△は減少)	77	△54
未払又は未収消費税等の増減額	1	△303
その他	125	175
小計	1,508	△286
利息及び配当金の受取額	11	12
保険金の受取額	5	0
利息の支払額	△149	△112
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△6	△23
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,370	△409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△165	△162
補助金による収入	5	1
その他	△40	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△109	377
長期借入金の返済による支出	△678	—
配当金の支払額	△0	△0
その他	△18	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△806	356
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100	45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	262	△207
現金及び現金同等物の期首残高	2,297	2,728
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,559	2,521

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

当社グループの事業セグメントは、ワックス及び関連製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

当社グループの事業セグメントは、ワックス及び関連製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。